



78200-XMG -KOSO N ONE BOOST METER

取 付 ・ 取 扱 説 明 書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。
安全にドライビングを楽しんでいただくために、以下の注意点を正しくご理解の上、
ご使用下さいますようお願い申し上げます。
取付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認して下さい。
2. 取り付け前に取り付け車両の形式の確認を行ってください。
[適応車種] N ONE (JG1, JG2ターボチャージャ装備車両)
3. ブーストメータキットの装着は、ホンダディーラーもしくは専門の整備工場等（認証工場）で行って下さい。
※本書の作業内容は、自動車整備士及び整備についてある程度の知識を持った方を対象としています。経験の無い方のみでの組付け作業は、ケガや事故または走行中の車両トラブル等をまねく恐れがあり、大変危険です。また、保障の対象外になりますので絶対に行わないで下さい。
4. 本製品は電子機器です。衝撃および湿気には十分注意し取扱い下さい。また、分解や改造は絶対に行わないで下さい。
5. 純正パーツの取付け・取外しはサービスマニュアルに従い作業を行って下さい。
6. 本製品の加工や分解、組付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

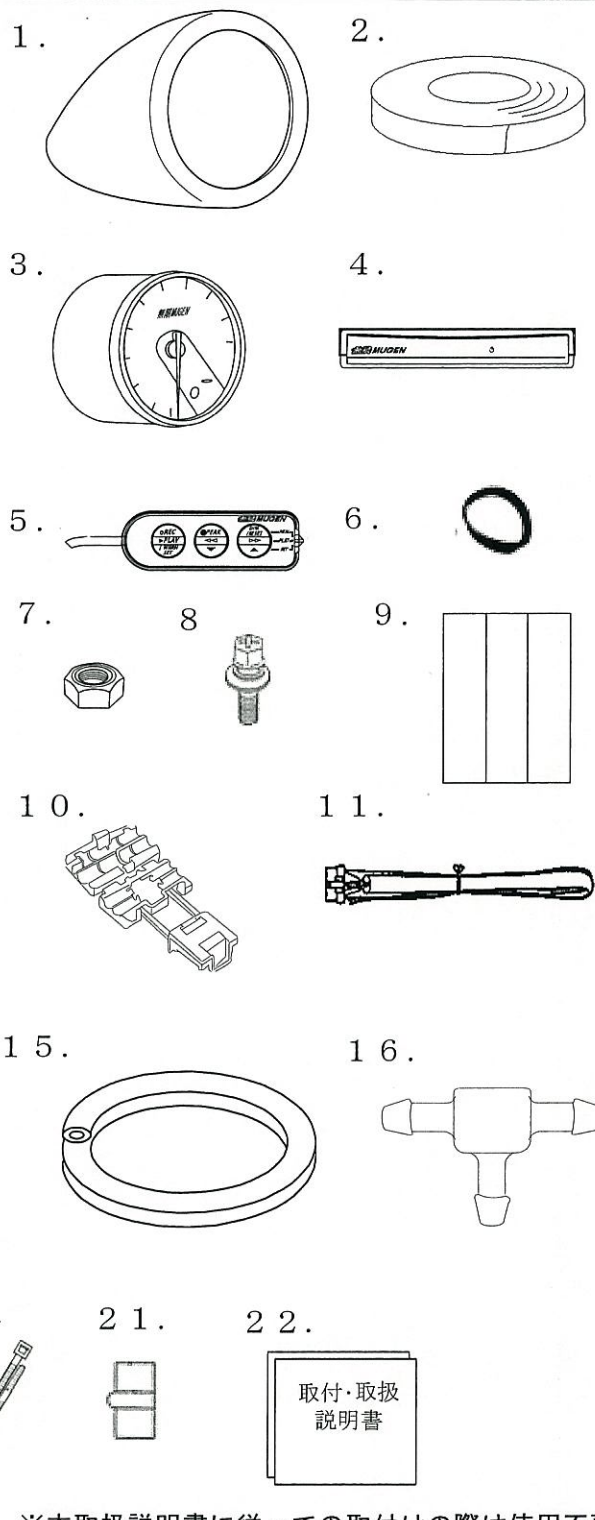
〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11
株式会社 M-T E C 商品事業部 営業1課
【営業時間 10:00~17:00土日・祝日除く】
TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

お客様へ

1. 定期的にゴムホースの劣化、割れを点検し、取付け状態を確認して下さい。損傷等の異常がある場合は速やかに補修を行ってください。
2. 走行中は安全の為、長時間凝視しないで下さい。前方不注意等による事故の原因となり大変危険です。
3. 天候その他の条件によっては、ブーストメータのガラス面が反射して見にくい場合があります。
4. ブーストメータを取付けることにより、前方の視認に影響を与える場合があります。運転には十分注意してください。
5. スイッチユニットの操作は必ず安全な場所で停車した状態で行って下さい。走行中の操作は前方不注意等による事故の原因となり大変危険です。

【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
1.	メータフード	1
2.	両面テープⅠ	1
3.	ブーストメータ	1
4.	コントロールユニット	1
5.	スイッチユニット	1
6.	リングラバー	1
7.	コントロールユニット取付けナット※	4
8.	コントロールユニット取付けボルト※	4
9.	両面テープⅡ	1
10.	エレクトロタップ	4
11.	電源ハーネス	1
12.	メータハーネス (4極白 2.0m)	1
13.	圧力センサ	1
14.	圧力センサーハーネス	1
15.	バキュームホース (0.9m)	1
16.	スリーウェイジョイント	1
17.	ホースバンド	4
18.	コルゲートチューブ (2.5m)	1
19.	タイラップ (黒150mm)	15
20.	タイラップ (白)	2
21.	ハーネスクリップ※	1
22.	取付・取扱説明書	1



※本取扱説明書に従っての取付けの際は使用不要

【取り付け時に用意いただくもの】

- ・ ビニールテープ ・ アルミテープ ・ コーキング剤 ・ クッションテープ
- ・ パーツクリーナ ・ サンドペーパー#80~120

【必要工具】

- ・ ボックスレンチ ・ ドライバー (プラス・マイナス) ・ プライヤー
- ・ カッターナイフ ・ ニッパー ・ ドリルφ3・φ6・φ8・φ12・φ15

I. 圧力センサの取り付け

※純正パーツの取外しはサービスマニュアルを参照すること。

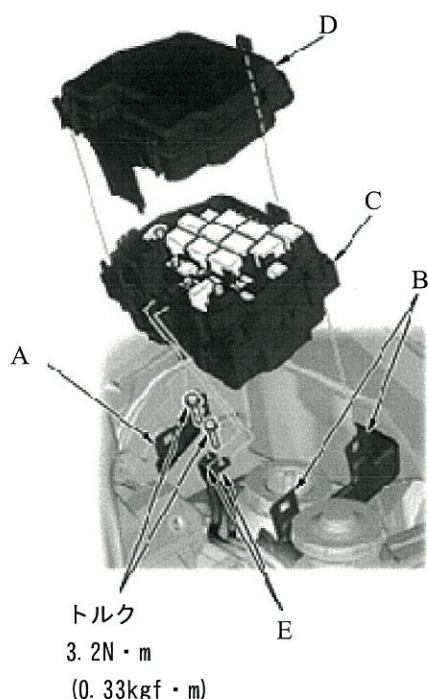
※エンジン停止直後は各部が高温になっている為、作業は行わないで下さい。火傷を負う恐れがあり大変危険です。

①バッテリーのマイナス端子の接続を外し約 3 分間待つ。

※メモリ機能の記憶が消去される場合があります。

②リレーボックス (C) からアップーボックス (D) を取外しケーブル (E) の接続を外す。

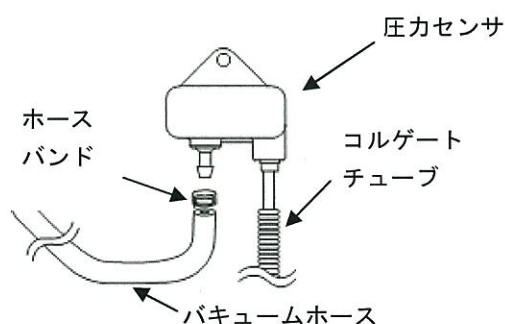
③ブラケット (A) (B) からリレーボックスを取外す。



④ブラケット (A) を取外す。

⑤付属の圧力センサに付属のバキュームホース、ホースバンドおよびコルゲートチューブを下図に従って取付ける。

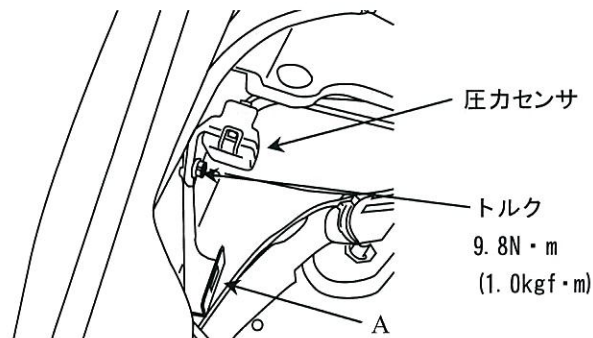
※コルゲートチューブは断面を下に向け、両端および 150~200mm 間隔程度でビニールテープにて巻きつける。



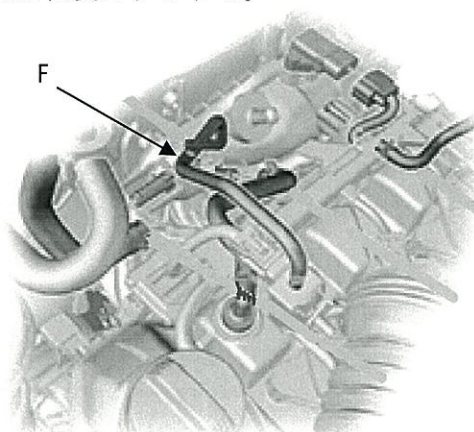
⑥⑤にてバキュームホース等を取付けた圧力センサを下図のようにブラケット (A) と共に共締めする。

※共締めの際圧力センサがブラケット (A) のリブに乗り上げないように注意すること。

※バキュームホースおよび圧力センサのハーネスが折れ曲がらないよう注意すること。

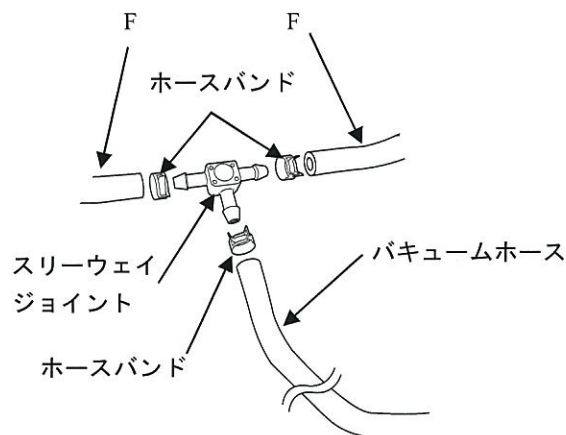


⑦下図のリーフチューブ (F) のストレート部分を 5mm 程度カットする。

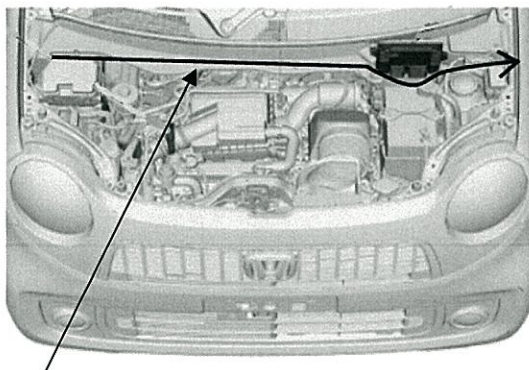


⑧⑦にてカットしたリーフチューブ (F) に下図のように付属のスリーウェイジョイントとホースバンドを取付け、⑤にて圧力センサに取付けたバキュームホースの逆端を下図のようにホースバンドにて取付ける。

※バキュームホースをカットする場合は、エンジンの揺動分を十分考慮した長さで配策できるようにカットすること。



- ⑨圧力センサを圧力センサハーネスに接続し、下図のように配策する。
 ※下図はカウルトップの上を配策しているように見えるが、カウルトップの下側に配策すること。



圧力センサハーネス

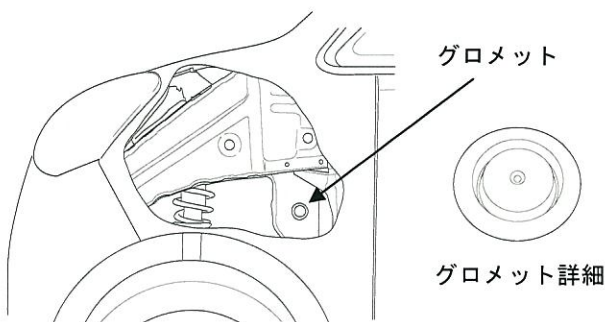
- ⑩圧力センサハーネスを左側フェンダーへ通す。
 ※コントロールユニットを推奨位置以外への設置の場合、設置場所によっては左側フェンダーからハーネスを引き込むとハーネスの長さが足らなくなる為注意すること。

- ⑪エンジンルーム内のセンサハーネスにコルゲートチューブを巻き、両端部および150～200mm間隔でビニールテープを巻きつけ、センサハーネスが動かないように車両のハーネス等にタイラップにて固定する。

※タイラップにて固定する際、ハーネスに無理な力が掛からないように注意すること。

- ⑫サービスマニュアルに従って、左側フロントインナーフェンダーを取外す。

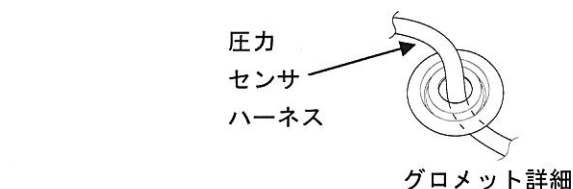
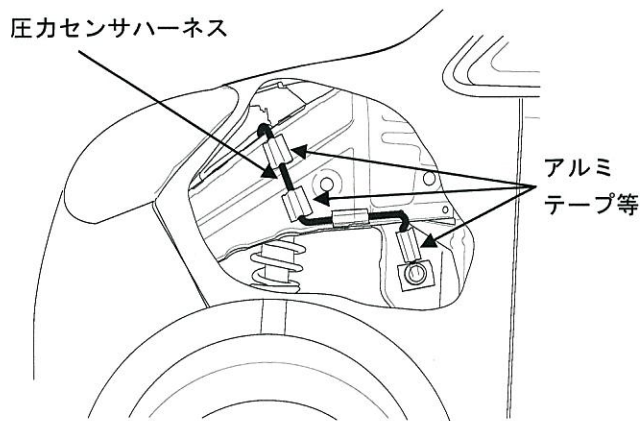
- ⑬下図に従ってグロメットを外し、グロメットのセンターにφ3→φ10にて穴開けをする。



グロメット

グロメット詳細

- ⑭⑩にて穴開けを行ったグロメットを車両に取付け、下図に従って圧力センサハーネスを配策し、アルミテープ又はクッションテープ等で数箇所、ハーネスをフレームに固定する。



グロメット詳細

※グロメットから圧力センサハーネスを通し、雨水等が入らないようコーキング剤にて防水処理を施すこと。

※アルミテープ又はクッションテープの貼付け面はパーツクリーナー等にて油分・汚れをきれいに拭き取っておくこと。

※任意の位置にクッションテープをコルゲートチューブに巻きつけ、車体との防音を行うこと。

- ⑮リレーボックス及び左側インナーフェンダを取外しと逆の手順で取付ける。

Ⅱ. 車内への設置（コントロールユニットは推奨位置）

※コントロールユニットを推奨位置以外に設置の場合は⑥と⑪の作業は行わない為注意すること。

※推奨位置以外に取付ける場合はハーネスを含め運転操作や可動物の妨げにならない場所に取り付けること。

①サービスマニュアルに従って、オーディオユニットまたはAVNユニットを取り外し、各カプラの接続を外す。

②付属の電源ハーネスをオーディオユニットカプラAと接続する。

オーディオユニットカプラA（24P）

2	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	1
4	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	3

ハーネス裏側から見た図

車両ハーネスカプラ

24	白又は赤	・・・ACC電源線（橙線と接続）
4	桃	・・・イルミ線（白線と接続）
3	黄	・・・常時電源線（赤線と接続）
1	黒	・・・GND線（黒線と接続）

④ 桃（イルミ線）がない場合

サービスマニュアルに従って、オートA/Cコントロールパネルを外し、各カプラとの接続を外す。

付属の電源ハーネスのイルミ線（白線）をオートA/Cコントロールユニット32Pカプラの15桃線に接続する。

オートA/Cコントロールユニットカプラ（32P）

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17

ハーネス裏側から見た図

車両ハーネスカプラ

15	桃	・・・イルミ線（白線と接続）
----	---	----------------

※ハンダ付けのやり方

(1) 配線の被覆を剥く



(2) 剥いた配線を巻き付ける



(3) ハンダを盛る
（ハンダがよく浸透したのを確認する）

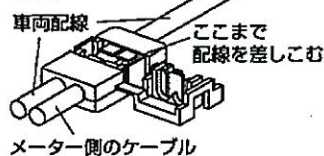


(4) 絶縁テープをしっかりと巻く

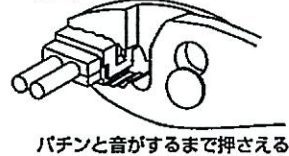


※エレクトロタップの使い方

(1)



(2)



※ハンダ付けの際は火傷に注意すること。

※エレクトロタップを使用する場合は、確実に接続し、スペースに注意すること。

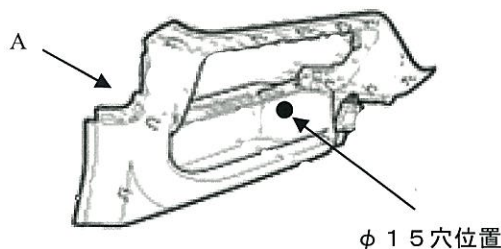
③アシスタントロアカバーをサービスマニュアルに従い取外す。

④取外したアシスタントロアカバー(A)の下図の位置にφ15の穴を開ける。

※穴空け位置の裏側にリブなどの障害物がないか確認してから穴開けを行うこと。

※3mmのドリルにて下穴をあけた後、少しずつ穴径を大きくすること。

※バリの処理を行うこと。



φ15穴位置

⑤インストルメントパネルにメータフードを仮置きし、位置をマーキングする。メータフードで隠れる位置にメータハーネスを通す穴をφ12にて開ける。

※メータフードはインストルメントパネルの中心線より運転席側に取付けるよう仮置きすること。

※穴開けの際は、インストルメントパネル裏面に何も無いことを確認すること。

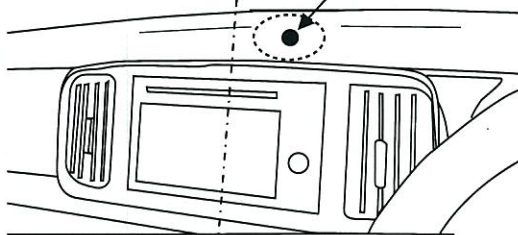
※インストルメントパネルに穴開けしない場合は、メータフードにハーネスを通す切り欠きを設けること。

※3mmのドリルにて下穴をあけた後、少しずつ穴径を大きくすること。

※バリの処理を行うこと。

中心線より運転
席側に取付ける
こと

メータフード取付け時に
隠れる位置にφ12にて
穴を開けること

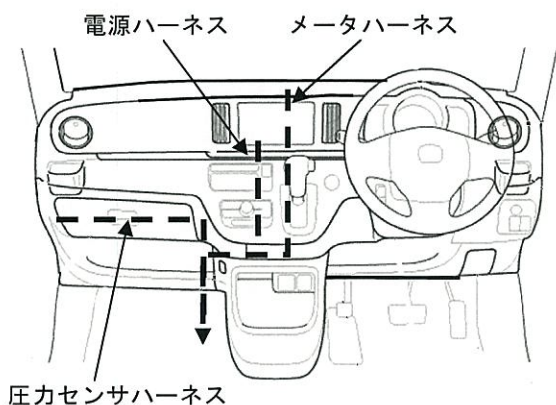


⑥メータハーネス（2.0m）を⑤にて開けた穴からインストルメントパネル下方向に入れ、電源ハーネス、圧力センサハーネスと共に助手席側足元に引き出す。

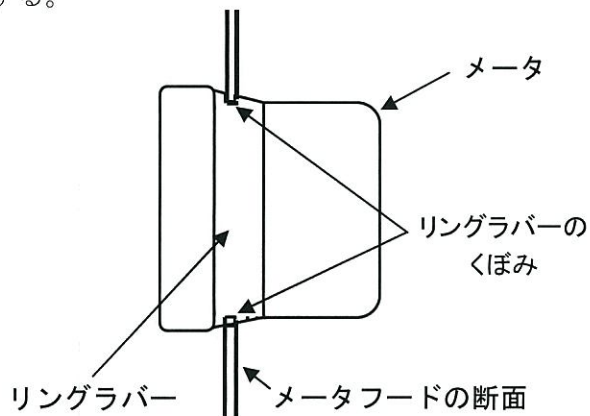
※メータハーネスは、200mm程度インストルメントパネル上に出してビニールテープで固定しておく。

⑦④にて空けたアシスタントロアカバーの穴にメータハーネス、電源ハーネスおよび圧力センサハーネスを下図のように配策して通し、サービスマニュアルに従って取付ける。

※ハーネスの長さ調整ができるように、タイラップを使用の際は長さを調節後に締込むこと。



⑧メータに付属のリングラバーを通し、ゴムのくぼみにメータフードが入るよう押し込んで装着する。



※ゴムのくぼみに入らない場合は無理に挿入せず、サンドペーパーでメータフードのメータ穴を円周方向に削り、挿入すること。また、削り過ぎるとメータを固定できなくなる為に注意すること。

※挿入する際に潤滑油等を使用する場合は、油滴がメータ内部に入らないよう注意すること。

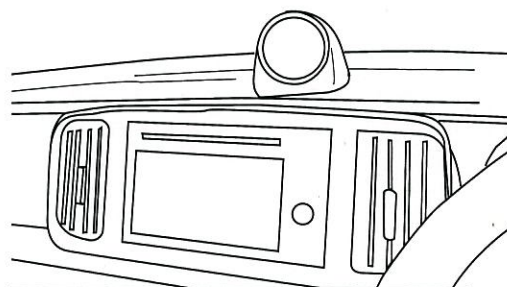
⑨⑥にて出しておいたメータハーネス（2.0m）をメータに接続する。

⑩付属の両面テープでメータフードをインストルメントパネルに⑤にてマーキングした位置に固定する。

※両面テープの貼付け面は、パーツクリーナ等にて油分・汚れをきれいに拭き取ること。

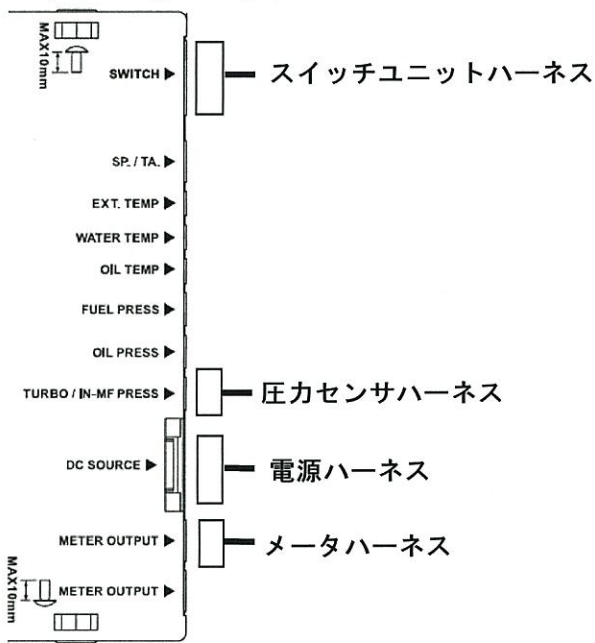
※気温が10℃以下の場合は、暖めてから両面テープを接着すること。

取付完成図



⑪圧力センサハーネス、メータハーネス（2.0m）、電源ハーネスおよび付属のスイッチユニットハーネスを下図に従いコントロールユニットに接続する。

コントロールユニット



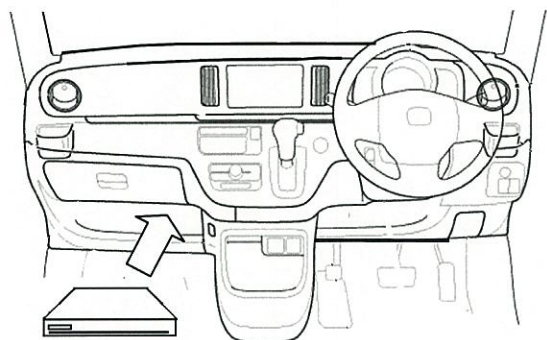
⑫下図のようにコントロールユニットをアシスタントロアカバー上面に両面テープにて取付ける。

※両面テープの貼付け面は、パーツクリーナ等にて油分・汚れをきれいに拭き取っておくこと。

※気温が10℃以下の場合は、両面テープを暖めてから接着すること。

※製品番号ラベルの位置には両面テープを貼らないこと。

※貼付けを行うとコントロールユニットのディップスイッチ操作が行えなくなる為、P8以降の操作方法を参照の上、あらかじめ設定を行うこと。



⑬スイッチユニットを任意の位置に両面テープを用いて貼付ける。

※ハーネスを含め運転操作や可動物の妨げにならない場所に取付けること。

※製品番号ラベルの位置には両面テープを貼らないこと。

⑭圧力センサハーネスとメータハーネス(2.0m)、電源ハーネスを車両ハーネス等とタイラップにて固定する。

※ハーネスはノイズなどの障害を発生させないように取回すこと。

※余ったハーネスを束ね、タイラップにて固定すること。

⑮オーディオユニットまたはAVNユニットを元に戻す。

⑯各タイラップを本締めする。

⑰バッテリーのマイナス端子を接続する。

⑱各ハーネスに無理な力が掛かっていないかを確認する。

⑲イグニッションをONにして、メータの作動に問題がないか確認する。

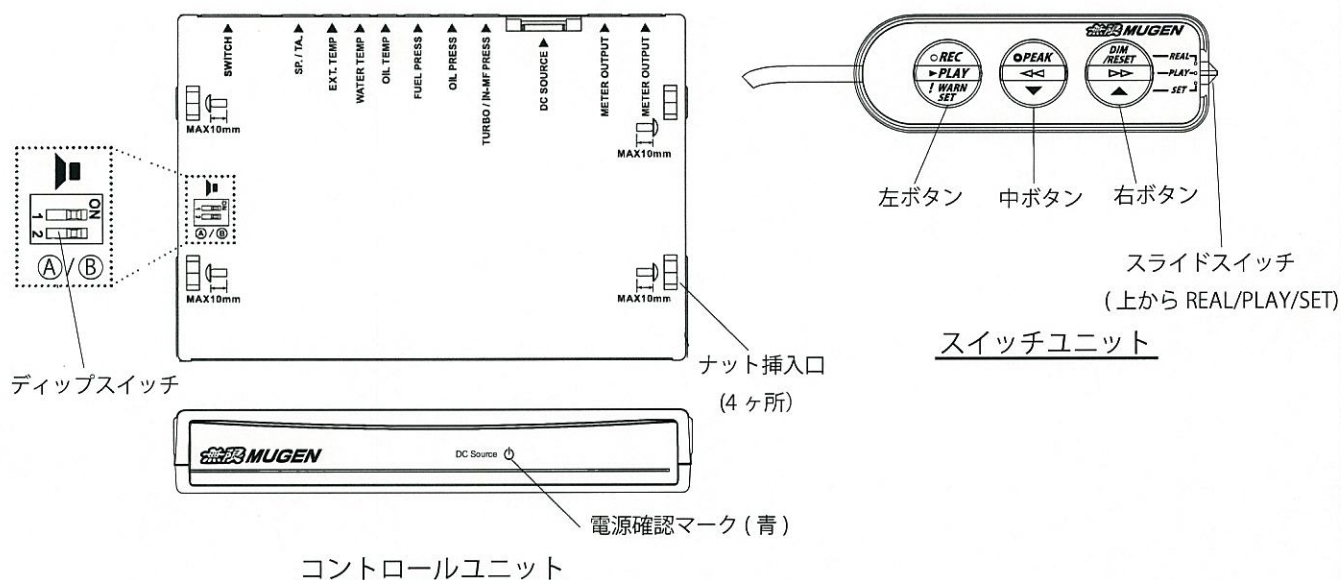
⑳エンジンを始動して、ホースからエア漏れ等がないかを確認する。

VI. 操作方法

操作方法の説明では、ボタンの押し方が「押す」方法と「長押し」方法の2種類出てきます。「押す」の場合は1秒未満ボタンを押してください。「長押し」の場合は1秒以上ボタンを押してください。

1. 各部名称と動作確認および設定

1-1. コントロールユニット&スイッチユニットの各部名称



1-2. 動作確認・設定

1. イグニッションを ON し、コントロールユニットの電源確認マークが点灯していることを確認してください。

2. オープニングモードが行われることを確認してください。

※2. オープニング・エンディングモード参照

3. メータにオープン・ショートのエラー表示が出ていないことを確認してください。

※3-2. オープン・ショート・シリアル通信のエラー表示参照

エラー表示が出ている場合

→イグニッションを一旦 OFF にし、エラー表示が出ているセンサ及びセンサハーネスを確認ください。

4. 各メータのワーニング値と各メータの照明色を設定してください。

※4-3. 照明色の変更参照

5. メータが正常に動作することを確認してください。確認ができれば設定は終わりです。

警告 設定・確認は必ず車を停止した状態で行ってください。

2. オープニング・エンディングモード

イグニッションを ON するとメータがオープニングモードを行います。また、全ての状態において、イグニッションを OFF するとメータがエンディングモードを行い、モード終了後にコントロールユニットとメータの電源が切れます。

※車両によってはキーを OFF にしてもイグニッションがすぐに OFF にならない場合があります。その場合は、車両のイグニッションが OFF になるまでエンディングモードは行なわれません。

※設定の途中で OFF にすると設定内容は保存されません。

※電源ハーネスが正常に配線されている場合、オープニングモード開始時からコントロールユニットの電源確認マークが青く点灯します。点灯していない場合や点滅している場合はイグニッションを一旦 OFF にし、配線を確認ください。

2-1. オープニング・エンディングモードの変更

コントロールユニットに付いているオープニング・エンディングモード切替用のディップスイッチ2 をスライドさせることで、オープニング / エンディングモードを A タイプと B タイプの 2 種類から選ぶことができます。

※モードの変更はイグニッション OFF 時に行ってください。全てのメータのモードが切り替わります。

※外光の明るさによっては照明が点灯していることがわかりづらい場合があります。

3. リアルモード（スライドスイッチ位置：REAL）

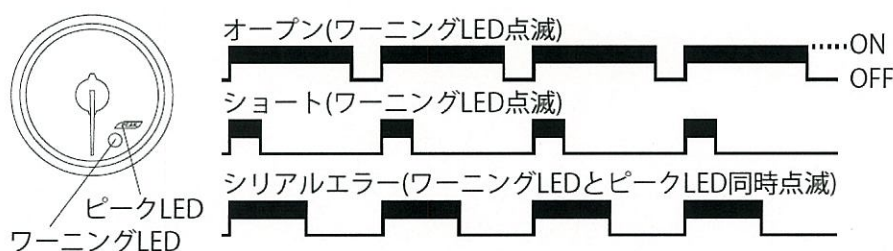
オープニングモード終了後にリアルモードへ移行します。リアルモード中は車両情報をリアルタイムに表示します。

3-1. ワーニング

設定したワーニング値以上で当該メータ内のワーニング LED が点灯します。

3-2. オープン・ショート・シリアル通信のエラー表示

センサがオープン、またはショートしている場合は当該メータのワーニング LED が点滅します。一度、オープンかショートのエラー表示が出ると、イグニッションを OFF にするまで点滅が続きます。油圧のショートメッセージはショートしている間だけ表示します。また、メータとコントロールユニット間で通信ができなくなった場合は、シリアル通信エラーが表示され、ワーニングとピーク LED が同時に点滅します。



※エラーが表示された場合は速やかにイグニッションを OFF にし、センサや配線を確認してください。原因がわからない場合は、販売店または取り付け店に検査を依頼してください。

3-3. 照明

車両のイルミスイッチに連動して点灯 / 消灯します。また、REAL モード・REC モード・PLAY モード中に右ボタンを数回押すと、車両のイルミ ON 時に照明を消すことができます。5 回中 1 回消灯します。(イルミキャンセル)

4. 設定モード (スライドスイッチ位置 : SET)

任意のワーニング値を設定することで、その値以上になったときに当該メータ内のワーニング LED が点灯します。また、各メータの照明色を変更することができます。

○ワーニング初期位置一覧

メータ	ワーニング初期値	単位	設定範囲		点灯条件
			最小値	最大値	
ブースト	100	kPa	-100	200	設定値以上

※車の種類やコンディションによってはワーニング値は変わりますので、販売店または取り付け店に相談し、設定値を検討および変更してください。

4-1. ワーニング値の設定

1. スライドスイッチを SET に合わせます。
2. 左ボタンを押すと設定モードに移行します。
3. ブーストメータが選択されていることを確認します。

選択メータ	未選択メータ
ワーニングLED 点滅 文字板照明高輝度点灯 (車両イルミON 時)	ワーニングLED 消灯 文字板照明低輝度点灯 (車両イルミON 時)

※接続されていないとメータは選択されません。

4. メータが選択された状態で、中ボタンを押すと設定値が下がり、右ボタンを押すと設定値が上がります。それぞれのボタンを長押しすると設定値が早く変わります。
5. スライドスイッチを REAL または PLAY に戻してください。

4-2. ワーニングブザーON/OFF の変更

コントロールユニットに付いているディップスイッチ1 : ブザーのON/OFF 切替スイッチをスライドさせることでワーニング発生時のブザーのON/OFF を設定することができます。スイッチ操作音はOFF できません。

※ON/OFFの変更はIGN OFF 時に行ってください。

4-3. メータ照明色の変更

1. スライドスイッチをSETに合わせます。
2. 左ボタンを押すと設定モードに移行します。
3. ブーストメータが選択されているか確認します。
4. メータが選択された状態で、中ボタンと右ボタンを同時に押すと照明色が変わります。
(車両のイルミススイッチをON にしてください。)

ブルー ⇄ アンバーレッド (初期設定：ブルー)

5. スライドスイッチをREALまたはPLAYに戻してください。

4-4. ブーストメータのオフセット調整

ブーストメータはイグニッションON の状態で0kPa を指しますが、センサの特性により、まれに指針が0の位置から少しずれている場合があります。その場合は指針の位置をオフセット調整することができます。

1. スライドスイッチをSETに合わせます。
2. 左ボタンを押すと設定モードに移行します。
3. ブーストメータが選択されていることを確認します。
4. 左ボタンを長押しすると、ピッという音と同時に調整が完了します。(指針はワーニング値を示しています。)
5. スライドスイッチをREALまたはPLAYに戻してください。

5. リアルピークモード (スライドスイッチ位置： REAL)

それまでの走行・アイドリング時の最大値をリアルモード中に表示するモードです。リセットするとその時点からのピーク値を表示します。

1. スライドスイッチをREALに合わせます。
2. 中ボタンを押すとリアルピークモードに移行します。リアルピークモード中はピークLED が点灯します。
3. 中ボタンを押すとリアルモードに戻ります。

6. リアルピークリセットモード (スライドスイッチ位置： REAL)

それまでの走行・アイドリング時の最大値をリセットするモードです。

1. スライドスイッチをREALに合わせます。
2. 中ボタンを押すとリアルピークモードに移行します。リアルピークモード中はピークLED が点灯します。
3. リアルピークモード中に右ボタンを押すと、ピークLED が点滅しピーク値がリセットされます。リセット後はリアルモードに戻ります。ローピークとハイピークどちらの表示のときも最大値と最小値の両方が同時にリセットされます。

7. レックモード（スライドスイッチ位置：REAL）

メータの走行データを最大3分間記録するモードです。レックモード中はイルミキャンセルが可能です。

1. スライドスイッチをREALに合わせます。
2. 左ボタンを押すとレックモードに移行し、記録を開始します。レックモード中はピークLED が点滅します。
3. 左ボタンを押すと記録を終了し、リアルモードに戻ります。または記録開始から3分経過するとリアルモードに戻ります。

8. レックピークモード（スライドスイッチ位置：REAL）

記録を開始した時点からの最大値をレック中に表示するモードです。

1. レックモード中に中ボタンを押すとレックピークモードに移行します。レックピークモード中はピークLED が点灯します。
2. 中ボタンを押すとレックモードに戻ります。また、左ボタンを押すとリアルモードに戻ります。記録開始から3 分経過するとリアルモードに戻ります。

9. プレイモード（スライドスイッチ位置：PLAY）

記録されているデータを再生するモードです。一時停止、コマ送り、早送り、巻き戻し等も可能です。プレイモード中はイルミキャンセルが可能です。

※3-3. 照明参照（イルミキャンセル）

1. スライドスイッチをPLAYに合わせます。
2. 左ボタンを押すとプレイモードに移行し、記録されているデータを再生します。プレイモード中はピークLED が点滅します。
3. 再生中に左ボタンを押すと再生を終了し、リアルモードに戻ります。または記録データが終了するとリアルモードに戻ります。

9-1. 再生中の操作

- ・再生中に中ボタンまたは右ボタンを押すと一時停止します。
- ・一時停止中に右ボタンを押すとコマ送り、右ボタンを長押しすると早送りになります。
- ・一時停止中に中ボタンを押すとコマ戻し、中ボタンを長押しすると巻き戻しになります。
- ・一時停止中に左ボタンを押すと再生に戻ります。

10. プレイピークモード（スライドスイッチ：PLAY）

レック中に記録されたデータの中の最大値をプレイ中に表示するモードです。プレイピークモード中でもデータ再生は進みます。

1. スライドスイッチをPLAYに合わせます。
2. 左ボタンを押すとプレイモードに移行し、データを再生します。プレイモード中はピークLED が点滅します。
3. 再生中にスライドスイッチをREALに合わせます。（一時停止中でも可）
4. 中ボタンを押すと記録データ中のピーク値を表示します。
5. 中ボタンを押すとデータの再生に戻ります。またはスライドスイッチをPLAYに合わせ、左ボタンを長押しするとリアルモードに戻ります。

リアルピーク・レックピーク・プレイピークの違い

	リアルピーク	レックピーク	プレイピーク
表示されるモード	リアルモード	レックモード	プレイモード
表示値	全モードのピーク値	レックモードで記録されたデータ中のピーク値	
ピーク値の更新	全モード中	レックモード中	
ピークリセット	リアルピークモード中に操作	レック開始時にオートリセットされる	